

平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 TONE株式会社
 コード番号 5967 URL <http://www.tonetool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松村 昌造
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 井上 昌良

TEL 06-6649-5967

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	971	4.2	46	36.0	63	13.1	55	192.7
29年5月期第1四半期	1,014	9.0	72	56.1	56	66.9	18	81.4

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 92百万円 (%) 29年5月期第1四半期 14百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	5.36	
29年5月期第1四半期	1.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	7,142	5,037	70.5
29年5月期	7,151	5,017	70.2

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 5,037百万円 29年5月期 5,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		5.00		7.00	12.00
30年5月期					
30年5月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年5月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年5月期(予想)の1株当たり期末配当金は12円となり、1株当たり年間配当金は12円となります。詳細については、平成29年7月13日適時開示の「単元株式数の変更、株式併合及び定款一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,080	16.3	560	26.7	580	26.9	350	24.0	169.84
通期	6,260	8.2	1,150	17.8	1,180	16.9	720	31.6	349.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年5月期の連結業績予想における第2四半期(累計)及び通期1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、平成29年7月13日適時開示の「単元株式数の変更、株式併合及び定款一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期1Q	11,713,000 株	29年5月期	11,713,000 株
期末自己株式数	30年5月期1Q	1,410,547 株	29年5月期	1,408,665 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期1Q	10,303,679 株	29年5月期1Q	10,305,514 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向となり、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調が継続いたしました。

しかしながら、米国新政権における政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、「締付」をキーワードとした幅広い製品群の開発・製造・販売を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

併せて、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」の拡販、主力製品「シャーレンチ」製品群及び充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売強化に加え、安全管理の要「トルク管理」製品群の売上拡大、さらにお客様要望に応えた特殊品対応を行うことによる市場の深堀り、新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、「TONEブランド戦略」として、モータースポーツを応援することを通じて、より多くの人々に工具の魅力を伝えることを目的に、レーサーサポートやレース協賛などを積極的に展開するとともに、現場の声に耳を傾け研究・開発に活かすことで、製品およびサービスの更なる進化と飛躍を目指すなど、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

その結果、作業工具類の売上高は、幅広く展開した販促活動など売上伸長に懸命な努力を行い6億3千万円となりました。機器類の売上高は、建築土木関連における計画のずれ込みなど依然として解消されず、3億4千万円となりました。

従いまして、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9億7千1百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

また、利益面では営業利益は4千6百万円（前年同期比36.0%減）、経常利益は6千3百万円（前年同期比13.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5千5百万円（前年同期比192.7%増）となりました。

各セグメントの概要は、次のとおりであります。

国内におきましては、作業工具類の売上に関しては、「TONEブランド戦略」を背景に、購買意欲を高める企画・販売を積極的に展開しました。また、機器類の売上に関しても、建設土木関連における工期の遅れ等が見られる中、様々な分野においてのお客様要望に対応した製品群を取り揃え、拡販活動に懸命な努力を行い売上高合計は8億6千9百万円となりました。その内訳は、西日本全体が4億3千9百万円（前年同期比9.1%増）、東日本全体が4億2千9百万円（前年同期比9.2%増）であり、ともに前年同期を上回りました。

海外におきましては、北米市場における売上の鈍化は依然として解消されない中、中国、東アジア市場における売上も未だ回復の兆しが見られず、輸出合計は1億1百万円（前年同期比53.2%減）となり、前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は71億4千2百万円となり前連結会計年度末に比べ8百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の増加1億2千9百万円、商品及び製品の増加2億3千8百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少4億7千6百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は21億5百万円となり前連結会計年度末に比べ2千8百万円減少しました。この主な要因は、短期借入金の増加4億3千万円等がありましたが、未払法人税等の減少2億1千4百万円、支払手形及び買掛金の減少1億3千7百万円、賞与引当金の減少6千1百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は50億3千7百万円となり前連結会計年度末に比べ1千9百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当7千2百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益5千5百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加3千9百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年7月13日発表の「平成29年5月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,836	511,287
受取手形及び売掛金	1,451,943	975,000
商品及び製品	1,172,173	1,410,813
仕掛品	527,992	516,580
原材料及び貯蔵品	877,752	870,242
繰延税金資産	70,657	65,694
その他	40,417	42,439
貸倒引当金	△4,660	△3,300
流動資産合計	4,518,113	4,388,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	587,391	619,186
機械装置及び運搬具(純額)	142,137	145,073
工具、器具及び備品(純額)	21,093	25,612
土地	781,509	832,725
リース資産(純額)	20,779	18,829
建設仮勘定	29,845	11,991
有形固定資産合計	1,582,756	1,653,419
無形固定資産		
リース資産	6,644	6,049
その他	61,350	57,396
無形固定資産合計	67,994	63,446
投資その他の資産		
投資有価証券	702,109	758,241
その他	280,244	278,604
貸倒引当金	△117	△117
投資その他の資産合計	982,236	1,036,728
固定資産合計	2,632,987	2,753,594
資産合計	7,151,101	7,142,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	723,170	585,667
短期借入金	231,090	661,843
リース債務	10,800	10,800
未払法人税等	220,354	6,319
賞与引当金	105,318	43,321
役員賞与引当金	29,500	-
未払金	151,817	171,199
未払費用	49,587	47,629
その他	16,443	28,706
流動負債合計	1,538,082	1,555,486
固定負債		
長期借入金	241,927	193,245
リース債務	17,987	15,287
繰延税金負債	171,919	191,092
退職給付に係る負債	138,689	128,432
資産除去債務	3,780	3,780
長期末払金	19,013	15,323
その他	2,400	2,600
固定負債合計	595,717	549,761
負債合計	2,133,799	2,105,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	4,305,547	4,288,685
自己株式	△371,252	△372,102
株主資本合計	4,702,676	4,684,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,430	343,498
為替換算調整勘定	10,194	8,642
その他の包括利益累計額合計	314,625	352,141
純資産合計	5,017,301	5,037,105
負債純資産合計	7,151,101	7,142,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	1,014,102	971,125
売上原価	618,370	586,524
売上総利益	395,732	384,601
販売費及び一般管理費	323,367	338,318
営業利益	72,365	46,282
営業外収益		
受取利息	14	133
受取配当金	12,715	12,484
その他	2,441	6,371
営業外収益合計	15,171	18,989
営業外費用		
支払利息	777	626
為替差損	30,515	809
その他	1	235
営業外費用合計	31,294	1,671
経常利益	56,242	63,599
税金等調整前四半期純利益	56,242	63,599
法人税、住民税及び事業税	3,658	1,260
法人税等調整額	33,699	7,071
法人税等合計	37,358	8,331
四半期純利益	18,884	55,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,884	55,268

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	18,884	55,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,314	39,068
為替換算調整勘定	△9,583	△1,551
その他の包括利益合計	△32,898	37,516
四半期包括利益	△14,013	92,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,013	92,784
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

① 前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	403,248	393,352	217,502	1,014,102	—	1,014,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,290	—	—	2,290	△2,290	—
計	405,538	393,352	217,502	1,016,393	△2,290	1,014,102
セグメント利益	37,874	18,791	16,609	73,276	△910	72,365

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	439,799	429,610	101,715	971,125	—	971,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	887	—	—	887	△887	—
計	440,686	429,610	101,715	972,012	△887	971,125
セグメント利益	36,197	22,674	△12,247	46,624	△341	46,282

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。